

今年も桜が見れたね

がん家族に密着した。
泣いて笑った、114日の記録。

ドキュメンタリー短編映画

がん家族。

hanashizume

兵庫伊丹市で個別指導学院「フリーステップ伊丹瑞穂教室」を営む東さんのご家族に密着。彼女は離れて暮らす母を看病できるのかという問題と向き合っていました。たまにとんでもないことが起きても、身近な人に助けてと声を出しながら向き合う姿がありました。

兵庫伊丹市 東さんご家族

監督・撮影・編集 酒井 たえこ

ナレーション 畑中ふう

主題歌 「舞い上がれ、桜の雨」
magcafe at garden

製作・著作 一般社団法人 Mon ami

企画・制作 がん家族。制作チーム（桜の舟プロジェクト）

<https://eigagankazoku.jimdofree.com/>

「来年も一緒に桜をみようね。」それは、がん家族の合い言葉。



Introduction

がん患者を看病している方を「第二の患者※」と広く知られているのをご存じですか？
そんな第二の患者を、私たちは親しみをこめて「がん家族」と、呼びんでいます。

これは、がん患者さんを遠くから支えたり、一緒に暮らしている二組のがん家族が、看病と生活の本当の姿を見せてくれたドキュメンタリー映画です。撮影の間、二組の「がん家族」は、がんという大きな波に悩み、時には泣きながら語ってくださることもありました。

しかし、悩んでばかりかというところではありませんでした。患者とのなにげない会話の中で、親子のこころの内を考へてみたり、小さな幸せを発見したりと、一般的な「がん家族」の辛いイメージからは想像もできないほど、微笑ましい暮らしがそこにはありました。

ぜひ、リアルな映像から「自分の家(看病)とそれほど変わらないんだ」ということを感じ、自分の看病に安心して欲しいと願っています。そしてその先に、ひとりじゃないと気づいていただければ最高に幸せです。

※参考「国立がん研究センター運営サイト/がん情報サービス」



Story

episode 2

女性「がん家族。」テーマは通う。

仕事をしながらお子さんとご主人と暮らしている女性が主人公。電車で約1時間半、離れて暮らす一人暮らしの母親の看病に通うが、毎回の通院に付き添いながら様々なことに悩みが尽きない。そしてある日、大きな問題が起こる。コロナの影響で希望通りに進まず、母親の状態は悪化するばかり。まんじりともしない日が経過するがついに…。

監督・撮影・編集 酒井 たえこ

この映画は、いま看病をされている二組のご家族の普通の生活を映像にすることで、観てくださった人が「他のがん家族の家では、こんな感じで患者と話しているんだ」「この場面は私と一緒にかもしれない」など、いろんなことを身近に感じていただきたいと思います、一人の主婦として初めて映画を作りました。がんという大きな壁を越えて気軽に観ていただけるといいなと思っています。



十数年にわたり「がん家族」の支援活動を行う。活動内容は、ボランティア活動・病院でのがん家族会・講演会・執筆・相談者さんへのアドバイス・一般社団法人 Mon amiの代表理事など。

製作・著作：一般社団法人 Mon ami 企画・制作：がん家族。制作チーム(桜の舟プロジェクト)

協賛：大阪糖菓株式会社コンペイトウ王国様 / 株式会社おふいす・ともとも様 / やおコミュニティ放送株式会社様 (五十音順)

ドキュメンタリー短編映画「がん家族。」は

[episode 1] sakuragoromo

[episode 2] hanashizume

2作品で一つの映画構成となっております。

一般公開

8/14▶18
YouTube

8/19▶23
かなやTube

映画に関する詳しい情報は
こちらよりご確認ください
<https://eigagankazoku.jimdofree.com/>

